

ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



ワシントン日本語学校事務局
HOT LINE (301)962-7415
Phone (301)962-7410
FAX (301)962-7411



はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/

苦境にあっても、天を恨まず

校長 三原 洋一

卒業式が近づくと、今から13年前の東日本大震災発生の11日後、宮城県気仙沼市立階上中学校で行われた卒業式で、卒業生の梶原裕太さんが読み上げた答辞が思い出されます。(現在もYouTubeなどでビデオクリップを見ることができます。)当時、NHKのニュースで放送されたと記憶していますが、卒業生のうち一人が亡くなり、二人が行方不明という悲しい状況の中、避難所となっていた体育館で卒業式が行われました。その式には避難者の方々も参列していました。



梶原さんは、亡くなった同級生や行方不明の友を思い、涙をこらえながら必死に言葉を

紡ぎました。何度も嗚咽をこらえきれず、涙を拭いながら読み上げた答辞は、「天を恨まず、助け合って生きていく」という、15歳の彼の強い決意を示すものでした。

以下に全文を紹介しします。生徒の皆さんにもぜひ読んでほしいと思います。そして、これからの人生で行き詰まった時、心が折れそうになった時、この答辞を思い出してみてください。

気仙沼市立階上中学校の卒業生

代表 梶原裕太君の答辞

本日は未曾有の大震災の傷も癒えないさなか、私たちのために卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。

ちょうど10日前の3月12日。春を思わせる暖かな日でした。

私たちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通り慣れたこの学舎を、57名揃って巣立つはずでした。

前日の11日。一足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、10数時間後の卒業式に思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こるとも知らずに…。

階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるもので



アメリカ初上陸



Mar 22 POP UP EVENT @MARUFUJI

プラント
ベース

グルテン
フリー

砂糖
不使用

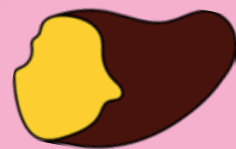
低GI^{※1}

良質な
食物繊維^{※2}



JAPANESE DRIED SWEET POTATO BAR

BENI BITES



新発想の"干し芋バー"

✨ 4点購入で +1点無料 ✨

お会計時に「広告見たよ!」と伝えるだけで、好きな商品をもう1つ
プレゼント! お得なチャンスをお見逃しなく!



VENUE: Marufuji Japanese Market
8520a Leesburg Pike, Vienna, VA 22182



FOLLOW US!
@benibites

この広告は本校卒業生が手掛けた
プロジェクトの宣伝です。

した。つらくて、悔しくてたまりません。

時計の針は 14 時 46 分を指したままです。でも時は確実に流れています。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。

命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です。

私たちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。

後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごしてください。先生方、親身のご指導、ありがとうございました。先生方が、いかに私たちを思ってくださっていたか、今になってよく分かります。地域の皆さん、これまで様々なご支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これから私たちが歩いていく姿を見守っててください。必ず、よき社会人になります。

私は、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に、本当に、本当に、ありがとうございました。

平成 23 年 3 月 22 日

第 64 回卒業生代表 梶原 裕太

梶原さんはその後、高等専門学校に進学され、今は、防災システム開発の仕事に携わっておられるようです。



卒業の「さくらの木」制作

今年で8回目となる「さくらの木」が、生徒会の委員の手によって完成しました。



今年は、3月に卒園・卒業する児童・生徒たちだけでなく、新たに4月に入園・入学する児童に向けても、お祝いの言葉をさくらの木の花と葉に込めてプレゼントすることとなりました。たくさんの素敵なメッセージが飾られていますので、是非ご覧ください。

完成した「さくらの木」は、今週まで2階の職員室横に展示します。3月8日は、卒園式会場、15日は卒業式会場に展示する予定です。



生徒会の委員は、1年を通じて主体的に活動してきました。特別活動のための時間のない本校では、休み時間や放課後等の短い隙間時間を活用しての活動となりますが、どの生徒も学校全体の活性化のために、一生懸命に活動してきました。委員の生徒達と、担当の生徒会主任の教諭の尽力に拍手を送りたいと思います。